

第八十六回帝國議會 院 等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外二件 委員會議錄(速記)第一回

付託議案

昭和二十年度一般會計處出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第一號)
金資特別會計法外五法律中改正法律案(政府提出)(第二號)
外資金庫法案(政府提出)(第三號)

昭和二十年一月二十四日(水曜日)午後一時四十九分開議
出席委員左ノ如シ
委員長 伊豆 富人君
理事米田 吉盛君理事原 玉重君

内池久五郎君 北村又左衛門君
鈴木 正吾君 中川 寛治君
二田 昇君 松延彌三郎君
渡邊 泰邦君 渡邊 健君
出席國務大臣左ノ如シ
大藏大臣 石渡莊太郎君
出席政府委員左ノ如シ
大藏政務次官 小笠原三九郎君

大藏參事官 田村 秀吉君
大藏省理財局長 式村 義雄君
大藏省外務局長 久保 文藏君
大藏書記官 窪谷 直光君
食糧管理局長官 湯河 元威君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和二十年度一般會計處出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
昭和二十年度一般會計處出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

金資特別會計法外五法律中改正法律案(政府提出)
外資金庫法案(政府提出)

第六類第一號 昭和二十年度一般會計處出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外二件 委員會議錄(速記)第一回

伊豆委員長

是ヨリ會議ヲ開キマス、本委員會ニ付託サレマシタルハ昭和二十年度一般會計處出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案、金資特別會計法外五法律中改正法律案、外資金庫法案デアリマス、右三案ヲ一括シテ議題ニ供シマス、先ヅ大藏大臣ノ說明ヲ求メマス、石渡大藏大臣

石渡國務大臣 本委員會ニ付託相成リマシタル昭和二十年度一般會計處出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外二件ニ付キ說明致シマス

先ヅ昭和二十年度一般會計處出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案ニ付テ說明致シマス、昭和二十年度一般會計處出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案ニ付テ說明致シマス、昭和二十年度一般會計處出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案ニ付テ說明致シマス

歳入歳出總決算ニ計上セル歳出總額二百二十四億四百二十餘萬圓ニ對シマシテ、普通歳入四百七十七億七千九百五十五萬圓ヲ充當シテ、不足致シマス七十

六億二千四百七十餘萬圓ハ公債財源ニ依ルノ必要ガアリマスル處、此ノ内現行ノ公債法ニ依リ調達シ得マスルモノ

ニ道路公債分千八百餘萬圓ガアリマスカラ、之ヲ差引キ七十六億六百七十萬圓ヲ限リ新タニ起債ノ權能ヲ得ルノ必要ガアルノデアリマス

尚ホ昭和二十年度歳出豫算中若干ノ金額ハ翌年度ニ繰越サル、結果ニナルデアラウト存ゼラレマスル處、其ノ繰越額ノ財源タル公債ハ、必ズシモ之ヲ昭和二十年度内ニ於テ發行スルノ必要

認メ、所要ノ規定ヲ設ケントスルモノデアリマス

次ニ大東亞戰爭ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲ノ公債發行デアリマシテ、大東亞戰爭ニ關シ功勞アリタル陸海軍軍人等ニシテ死歿シタル者ニ對シ、一時賜金トシテ公債ヲ交付スル爲メ其

ノ發行限度額ヲ八億六千五百三十萬圓増加スルノ必要ガアリマスルト、公債ノ發行年度ヲ延長スルノ必要ガアリマ

スルトニ依リマシテ、所要ノ改正ヲ行ハントスルモノデアリマス
次ニ從來朝鮮ニ於キマシテ、米穀生産確保補給金、石炭價格調整補給金、企業整備ニ要スル經費等ノ財源ニ充ツル爲ノ公債ヲ發行スルコトヲ得ルコトナ

ツテ居タルデアリマスガ、今回公債財源ヲ以テ支辨シ得ル經費ノ範圍ニ米麥以外ノ食糧ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金並ニ食糧ノ供出及配給ヲ確保スル爲

ノ獎勵金及助成金、石炭、鐵礦石、鐵鋼、輕金屬及非鐵金屬ノ増産ヲ促進スル爲ノ所謂特別價格報奨金、鐵鋼及輕

金屬ノ生産ノ際ニ於ケル原料等ノ效率的利用ヲ促進スル爲ノ所謂原單位切下報奨金ヲ加ヘマスルト共ニ、公債ノ發行限度額ヲ一億六千三百五十萬圓増加

スルノ必要ガアリマスノデ、所要ノ改正ヲ行ハントスルモノデアリマス
最後ニ從來臺灣ニ於キマシテハ米穀生産確保補給金及企業整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲ノ公債ヲ發行シ得ルコトナツテ居タルデアリマスガ、今

金ヲ加ヘマスルト共ニ、公債ノ發行限度額ヲ六千二百二十萬圓増加スルノ必要ガアリマスノデ、所要ノ改正ヲ行ハ

ントスルモノデアリマス
次ニ金資特別會計法外五法律中改正法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、先

ヅ金資特別會計法中改正デアリマスガ、金資金ノ現行使用限度額四億圓ノ内ニ億圓ハ產金事業ノ整備ヲ圖ル爲メ必

要ナル用途ニ使用スルコトヲ豫定致シテ居ルノデアリマスガ、產金事業ノ整備ノ進捗ニ伴ヒマシテ其ノ金額ヲ二億

五千萬圓増額スルノ必要ガアリマスノデ、所要ノ改正ヲ行ハントスルモノデアリマス
次ニ食糧管理特別會計法中改正デアリマスガ、同特別會計ノ圓滑ナル運

營ヲ圖ル爲メ食糧證券ノ最高發行限度額ヲ十億圓増額スルノ必要ガアリマスル外、會計事務ノ簡捷ヲ圖ル爲メ從來一

般會計ニ屬シテ居リマシタル米穀生産確保補給金ヲ食糧管理特別會計ニ屬セシメ、食糧證券ヲ以テ交付スルコトヲ致

スノヲ適當ト認メ、所要ノ改正ヲ行ハントスルモノデアリマス
次ニ薪炭需給調節特別會計法中改正デアリマスガ、同特別會計ノ支拂ニ支

額ヲ一億圓増額スルノ必要ガアリマス

ルト、益金納付、原料購買等ノ爲メ同特別會計ニ於テ一時ノ必要ナル現金ヲ充實スル爲メ借入金ヲ以テ其ノ措置

運轉資本ヲ一時補足シ得ル限度額ヲ六千萬圓増額スルノ必要ガアリマスルト

ニ依リマシテ、所要ノ改正ヲ行ハントスルモノデアリマス
次ニ朝鮮食糧管理特別會計法中改正デアリマスガ、會計事務ノ簡捷ヲ圖ル

爲メ從來朝鮮總督府特別會計ニ屬シテ居リマシタル食糧生産確保補給金ヲ朝鮮食糧管理特別會計ニ屬セシメ、朝鮮食糧證券ヲ以テ交付スルコトヲ致スノヲ

適當ト認メ、所要ノ改正ヲ行ハントスルモノデアリマス
最後ニ臨時軍事費特別會計法中改正デアリマスガ、外國ニ於テ支拂ヲ致シ

マス臨時軍事費支辨ノ爲メ借入レマシタ借入金ノ利子ハ、其ノ財源調達ノ便宜上之ヲ臨時軍事費特別會計ノ所屬

ト致シマスノヲ適當ト認メ、所要ノ改正ヲ行ハントスルモノデアリマス
次ニ外資金庫法案ニ付キ說明致シマス、本法案ハ大東亞各地域ニ於ケル資

ト共ニ、金庫ノ業務ハ必要ニ應ジテ銀行等ヲシテ其ノ一部ヲ取扱ハシメルコトヲ豫定シテ居ルノデアリマス、金庫ノ資本金ハ五千萬圓、全額政府出資トシ、第一回ノ拂込ハ其ノ五分ノ一ヲ下ラザル額ト致シマシタ、金庫ノ業務ト致シマシテハ、主トシテ金融機關ヨリノ預リ金等ニ依ツテ調達致シマシタ資本金ヲ主務大臣ノ定ムル貸付、價格調整等ニ充用スルコトヲ豫定致シテ居ルノデアリマス

次ニ金庫ノ職員其ノ他金庫ノ業務ヲ行フ者ヲ公務員ト看做スコトトシ、又金庫ガ業務ニ因ツテ被ツタ損失ハ政府ガ之ヲ補償致シマスルト共ニ、其ノ剩餘金ハ擧ゲテ政府ニ納付セシムルコトト致シタノデアリマス、尙ホ金庫ノ事業年度ニ付キマシテハ、政府ノ適當ト認ムル期間ニ互リ得ルコトト致シタノデアリマス、是ガ外資金庫法案提案ノ説明デアリマス

以上三件ノ法律案ニ付キマシテハ、何卒慎重御審議ノ上速カニ御賛成アラシコトヲ希望致ス次第デアリマス  
○伊豆委員長 質疑ノ通告ガアリマス  
ス——二田君  
○二田委員 此ノ際大臣ニ二、三御伺ヒ致シタト存ジマス、第一ニ政府ノ資金ノ放漫ナル放出ノコトニ付キマシテ御伺ヒ致シタト思ヒマス、最近労働者、特ニ自由労働者ノ賃金ト云フモノハ歴大ナル昂騰ヲ來シテ居ルノデアリマス、昭和十七、八年ノ頃ハ、地方ニ於キマシテ労働賃金ヲ一番引上ゲマシタモノハ地方ノ營林局デアツタノデアリマス、當時農村ノ賃金ハ二圓程ニ至ツテハ十五、六圓モ出シマシテ人夫ヲ雇フテ居ツタノデアリマス、是等

ノコトガ原因ヲナシマシテ最近閣ノ横行著シイモノガゴザイマス、昭和十七年ノ頃ニ於テハ、國民ハ輕微ナル困ラヤルニ致シマシテモ非常ニ良心的デゴザイマシタ、斯ウ云フコトハヤツテハ悪イノデアアルガ、マア怖ルノヤルト云フヤウナ状態デアツタノデアリマス、所ガ最近ニ至ツテハ、放漫ナル資金ノ放出ト、又一面凡ユル物資ノ不足ガ原因致シマシテ、公然ト國民ハ困ラヤルト云フヤウナ情勢ニナツタノデアリマス、戰爭ニ勝抜ク爲メハ、道義ヲ守リ秩序ヲ守ルコト云フコトガ最モ重大ナルコトト考ヘマス、斯様ナ點カラ見マシテ、斯カル現象ハ本當ニ憂慮致サナケレバナラナイ現象デアルト考ヘルノデアリマス、最近地方ニハヨク突貫工事ト稱スルモノガアルノデアリマス、或ハ軍ノ仕事、或ハ鐵道ノ急ガナケレバナラヌト云フヤウナ仕事、國ノ要請上急速ニヤラナケレバナラヌ仕事ガアルノデアリマスガ、是等ノ所謂突貫工事ニ雇ハレル所ノ人夫ノ賃金ハ十五圓、ヒドイノハ二十圓、中ニハ三十圓ト云フヤウナモノガアルノデアリマス、又一方國策會社ト云フモノガアリマシテ、是等ノ會社ニ於テ使フ所ノ人夫ノ賃金モ非常ニ高イノデアリマス、斯様ニ致シマシテ、其ノ一部ノ仕事ハ高イ賃金ヲ出シマシテ一寸シタ仕事ダケハ出カスカカ知レマセヌガ、其ノ影響スル所ハ非常ニ大キイノデアリマス、例ヘテ申シマスト、或ル鐵道工事ヲ非常ニ高イ賃金ヲ出シテ短時日ノ間ニ出カシタ、成程一寸シタ輸送ダケハ出來タ、併シナガラソレガ農業方面ニ影響シテ、其ノ爲ニ工事ガ出來ナクナツテ、大旱魃ヲ被ツテ米ガ減産シタ、斯ウ云フヤウナ現象ガ方々ニアルノデアリマス、

或ハ、或ル木造船會社ガ、三百萬圓ノ投資ヲシナガラ百六十萬圓ノ缺損ヲシテ居ル、而モ頼ム者ハ非常ニ高イ賃金ヲ出シテ頼シテ居ル、サウシテ其ノ成績モ悪イ、斯ウ云フヤウナ現象ガ方々ニアルノデアリマス、是等ハ主ニ政府ノ資金ヲ放出スルノニ放漫ナル結果デアアル、大藏省自身ハ相當嚴重ニナル積リデアアルカモ知レマセヌガ、他ノ官廳トノ連絡ガ悪イ爲メカ、非常ニ放漫ナル支出ヲスル結果、斯カル現象ガ現ハレルコトガ一番大キイ私ハ考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付テ大藏大臣ノ所見ヲ伺ヒマス

○石渡國務大臣 戰時ノ經濟ガ財政ヲ基準トシテ動イテ居リマススコトハ申スマデモゴザイマセヌ、隨テ戰爭ニ當リマシテ、政府ノ財政資金ノ増大ニ連レテ、産業増設ノ必要ニ上産業資金ノ増加致シテ來テ居リマススコトモ御承知ノ通りデアリマス、隨テ此ノ物價又ハ賃金ノ上ニ於テ、相當ニ騰貴ヲ示シテ來テ居リマススコトモ御説ト通りデアリト存ジマス、併シナガラ政府ト致シマシテハ、支那事變以來是等ノ物價、賃金ニ付テハ、出來ルダケ之ヲ抑止シテ來テ居ルノデアリマス、今日ノ事情ニ於テ勿論昭和十二年當時トハ物價ニ於テモ相當開キガアルノデアリマスガ、併シナガラ食糧ノ根本デアアル米デアアルカ、麥デアアルカ、又産業ノ根本デアアル石炭デアアルカ、鐵デアアルカ云フモノニ付テハ、政府、其ノ昂騰シタル多クノ部分ヲ國ノ負擔トシテ、サウシテ物價ノ抑止ニ充テテ居ル譯デアリマス、只今御話ノアリマシタ官廳ガ金ノ使ヒ方ガ放漫デアリマシタ云フ御話デアリマスガ、官廳トシテハ十分左様ナ點ハ注意シテ居ルコトト思ツテ居ルノデア

リマス、唯如何ニシテモ、如何ニモ分量ガ多イノデアリマスカラ、隨テ官廳カラ餘計ニ金ガ出テ行クデアリナイカト云フ御意見デアリナラバ、全ク其ノ通りデアアルト存ジマス

○二田委員 要スルニ私ハ賃金ノコトニ付テ申上ゲタノデアリマシテ、賃金ハ要スルニ均衡ヲ得ナケレバイカヌ、或ル方面ノ賃金ハ非常ニ高イ、或ル方面ハ非常ニ安イト云フコトデハ、國ノ全般ノ生産増強ニハナラナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ此ノ程度ニ致シマシテ、次ニ伺ヒマス、金資金特別會計ノコトデゴザイマスガ、金ハ、昭和十七年カト存ジマスガ、管理通貨制ニナリマシテ以來、兌換ガ停止ニ相成ツタノデアリマスガ、茲ニ此ノ資金ヲ増額致シマシタ詳シイ理由ノ御説明ハナカツタノデアリマスガ、是ハ金ヲ他ノ工業用ノ用途ニ充テル爲メニ生産スルノデアアルカ、或ハ此ノ中ニ銀ノ生産モノ——最近銀ノ用途ガ非常ニ重要視サレテ來タノデアアルガ、其ノ銀ノ生産モ含マレテ居ルノデアアルカ、一應御伺ヒシマス

○石渡國務大臣 是ハ只今御尋ネガゴザイマシタ金ノ生産及ビ銀ノ生産ガ殖エテ居ルガ爲メ増額ト云フ譯デアリマセヌ、寧ロ金鑛業ノ整備ニ要スル資金デアリマシテ、時局ノ進展ニ伴ヒマシテ金鑛ヲ漸次整理シテ、ソレ等ノ人、物、金ヲ其ノ他ノ鑛業ニ用ヒヨウ、斯ウ云フコトヲ致シタガ爲メ資金デアリマス

ト存ジマス  
○石渡國務大臣 金ノ將來ノ問題ト云フモノハ中々難カシイ問題デアルト存ジマス、ソレデモ金ヲ國際間ノ貨幣トシテ用ヒルカドレウカト云フコトハ、コチラダケデハ一概ニ行キ兼ネル問題デアリマス、是ハ相手ノアルコトデアリマスノデ、國際間ニ金ヲ將來用ヒルカ、或ハ金ハ全然不要ナコトニナツテシマフカト云フコトハ、中々難カシイ問題デアルト存ジマスガ、少クとも今日ニ於キマシテハ、日本ハ勿論デアリマスガ、世界何レノ國デモ金ニ依ツテ戰爭ヲ致シテ居ル國ハゴザイマセヌ、又此ノ戰爭ノ繼續スル限リニ於テ、金ヲ頼リニシテ戰爭ヲスル譯ニハイクマイト存ジマス、將來戰後ニ於キマスル經濟ニ於テ、金ガ國際通貨トシテ復歸致スカドウカト云フコトハ、先ニ申シマシタ通り之ヲ見透スコトハ中々困難ナ問題デアリマスガ、我が國ト致シマシテハ、大東亞其榮園内ニ於テハ金ヲ國際間ノ通貨トシテ用ヒナイ、物ト物トノ間ノ輸出入ノ關係ニ於テ、ソレヲオ互ニ持ツテ居ル物ハ之ヲ輸出スル、持ナイ物ハ輸入スルコト云フコトデアツテ行カウ、斯様ナコトニ決定ヲ致シテ居ル次第デアリマシテ、大東亞其榮園内ニ於テ金ヲ用ヒルト云フコトハ考ヘテ居ラナイ次第デアリマス

○二田委員 更ニ御伺ヒ致シタト思ヒマス、我が國ハ管理通貨制ヲ採用致シテ居ルノデアリマスガ、將來大藏大臣ハ金本位ニ復歸スルト云フヤウナ御意思ガアルカドウカ、御伺ヒ致シタイ

○二田委員 大藏大臣ノ御所見ヲ承リマシテ、私モ非常ニ同感デアリマス、要スルニ私ヲ一番持ツテ居ルハ「アメリカ」デアリマス、一番持テルモノガ強クナルノハ當然デアリマス、斯様ナ譯デ金ヲ通貨トシテ用ヒナイト云フコトヲハツキリ承ツテ洵ニ同感デアリマス、尙ホ自分ノ意見ヲ申上ゲテハ恐縮デス

ガ、將來トモサウ云フモノハ相手ニシ  
ナイデ、要スルニ日本ハ國民ノ力、國  
民ノ勤勞力ヲ相手ニシテ、將來トモ國  
際間ノ通貨ノ關係ニモ對處スルト云フ  
ヤウナ覺悟ヲ必要トスルト私ハ考ヘル  
ノデアリマス

次ニ伺ヒタイノデアリマスガ、大東  
亞共榮圈ニ於ケル爲替ノ換算デアリ  
マスガ、現在ノ所ニ於キマシテ大東亞  
共榮圈ニ於キマシテハ、我が國ノ圓ト  
「バー」制度ヲ執ツテ居ルト云フコトヲ承  
ツテ居ルノデアリマス、尤モ準備券ダ  
ケハ別デアリマスガ、現在ニ於テハ「バー」  
制度ヲ執ツテ居リマス、是ハ共榮圈  
ノ建前カラ見マシテ、我が國ノ大御  
稜威ノ有難イ政治ト考ヘラレルノデア  
リマス、米英ハ要スルニ爲替ノ差ヲ以  
テ植民地ヲ搾取シタ、買フモノハ安ク  
買ヒ、賣ルモノハ高ク賣付ケテ搾取ヲ  
致シタノデアリマスガ、サウ云フヤウ  
ナ政策ハ、マザムト失敗致シタノデア  
リマス、此ノ點ニ於キマシテ我が國ノ  
政策ト云フモノハ、洵ニ有難イ政策ト  
考ヘルノデアリマス、唯最近色々向フ  
カラ歸ツテ來タ人達ハ、「バー」デハ困  
ル、差等ヲ設ケルノガ當然デハナイカ  
ト云フヤウナ議論ヲスル人モアルノデ  
アリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ大藏  
大臣ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレ  
マスカ

○石渡國務大臣 大東亞ノ共榮圈ノ中  
ニ於ケル貨幣換算率ノ問題デゴザイマ  
スガ、物價ノ變動ニ依ツテ爲替ノ換算  
率ヲ變更ヲ致スト云フヤウナ考ヘ方ヲ  
致シテ居ル者モアルカト思フノデアリ  
マスガ、政府トシマシテハ換算率ヲ變  
ヘル考ヘヲ持ツテ居ラヌノデアリマス  
○二田委員 次ニ食糧ヲ材料トスル所  
ノ燃料製造ノコトデアリマス、是ハ農

商省關係ノ方ニ御伺ヒシタ方宜イカ  
モ知レナイガ、簡單ニ根本的ナコトダ  
ケヲ大藏大臣ニ御伺ヒシタイト存ジマ  
ス、食糧ガ段々不足ニ相成ルノニ、食  
糧ヲ原料トスル所ノ燃料ガ非常ニ殖エ  
テ參ツタト承ツテ居リマス、サウスル  
ト益、食糧ニ不足スルト云フヤウナ結  
果ニ相成ルノデアリマス、特ニ昭和十  
九年度ハ外米輸入ヲ脱却致シマシテ、  
内地、滿洲ヲ通ズル自給政策ヲ樹テタ  
ノデアリマスガ、是ガ段々内地自給策  
ニ移ラナケレバナラナイヤウナ情勢ト  
相成ルモノト考ヘルノデアリマス、斯  
様ニ相成リマスレバ、益、燃料ト食糧ノ間  
題ハカチ合フコトト相成ルノデアリマ  
ス、ソコデ此ノ食糧ノ値段ノコトデア  
リマスガ、「アルコール」ノ材料トスル薩  
摩芋ノ値段、或ハ馬鈴薯ノ値段ハ、誰ガ  
考ヘテ見テモ安イノデアリマス、今其  
ノ値段ノ詳シイコトハ申上ゲマセヌガ、  
兎ニ角常識的ニ考ヘテ安イノデアリ  
マス、又生産費カラ見テモ安イノデア  
リマス、斯ウ云フコトニ付キマシテ大  
藏大臣ハ客觀的ニドウ云フ御考ヘヲ持  
ツテ居ルカト云フコトヲ承リタイノデ  
アリマス

更ニモウ一ツ承リタイコトハ、最近  
松ノ根カラ油ヲ採ルコトガ始マリマシ  
テ、松根油製造ガ農業會ニ全面的ニ其ノ  
使命ガ負ハサレマシテ、松ノ根ヲ掘リ、  
或ハ竊ヲ築クコトヲ現在ヤツテ居リマ  
ス、此ノ事ハ食糧ニナラナイ松ノ根ヲ  
材料トシテ油ヲ採ルノデアリマスカラ、  
一石ニ鳥ノコトト考ヘルノデアリマス、  
所デ此ノ松根油ヲ製造スルニ付キマシ  
テ、最初農業會ガヤル際ニ、其ノ費用  
等ハ相當額ノ補助ヲスル、或ハ資材等  
モ相當考慮シテヤルト云フコトデアツ  
タノデアリマスガ、最近ニ至ツテ實情

ヲ見マスルニ、其ノ補助率ト云フモノ  
ハ極メテ低イモノデアリマス、開ク處  
ニ依リマスト大藏省ガ、一言ニシテ言  
ヒマス、ソレヲ削ツタト云フコトヲ  
承ツテ居ルノデアリマスガ、無論農業  
會ハ損得ヲ度外視致シマシテ、與ヘラ  
レタ補助金ダケ油ヲ製造スルノデア  
リマスガ、大體ニ於テ缺損ニナルヤウ  
ナ仕組ニナツテ居ルノデアリマス、缺  
損シテモ宜シイノデス、唯農業會ハ一  
ツノ經營團體デアリマスカラ、缺損ガ重  
ナレバソコニ思ハザル破綻ガ來ル、破  
綻ガ來テモ宜イノデアリマスガ、其ノ  
農業會ノ破綻ガ地方ノ凡ユル金融上ニ  
影響ヲ及ボスト云フコトニ相成ルノデ  
アリマス、此ノ二點ニ付キマシテ大藏  
大臣ノ御所見ヲ承リタイト存ジマス

○石渡國務大臣 諸ニ付キマシテハ或  
ハ食糧トシテ、或ハ燃料トシテ非常ニ  
重要ナ意義ヲ持ツテ居ルノデアリマス  
ガ、來年度ニ於キマシテハ、相當大規  
模ナ増産計畫ヲ目下立テラレテ居ルノ  
デアリマシテ、恐ラク、今年度ノ倍以  
上ノ產出ヲ豫定致サル、コトト思フノ  
デアリマス、此ノ値段ガ安過ギハセヌ  
カト云フ御話デアリマスガ、是ハ私ハ  
ツキリ此處デ申上ゲル譯ニ行カスト思  
フノデアリマシテ、農商省ニ於テ御考  
ヘ戴クヨリ外ニナイト思フノデアリマ  
ス、松根油ノ補助金ニ付テ、ドウモ補  
助金ガ少クテ農業會ハ赤字ガ出ル、大  
藏省ガ補助金ヲ餘計ニ削ツタノデハナ  
イカト、斯ウ云フ御考デアリマスガ、  
大藏省ハ大抵ノ費目ヲ皆削ツテ居ルノ  
デアリマシテ、各省ノ申出ニ依ツテ渡  
シタ金ト云フモノハ殆ドゴザイマセヌ、  
ソレデアリマスカラ、幾ラ松根油ニ付  
テノ補助金ヲ削ツテ居ルカハ私能ク存  
ジマセヌガ、恐ラク農業會カラ、或ハ

農商省カラ御話ガアツタ金ニハ、相當  
ナ削減ガ加ヘラレテ居ルコトト存ジマ  
ス、併シナガラソレヲ實行スルニ付テ  
ハ、大藏省ハ他ノ省デ承知シナイモノ  
ヲ押付ケルト云フ權限ハ持ツテ居リマ  
セヌ、隨テ其ノ金ニ付テ、農商省ガ引  
受ケテ、是テ自分ノ方デヤルト云ツテ、  
ソレガ實行ニ移ツテ居ル譯デアリマス  
カラ、恐ラクハ採算上サウ赤字ガ出ル  
計算デ進マレテ居ツタノデハアルマイ  
ト思フノデアリマスガ、併シナガラ色  
色ナ實行上、其ノ金デハ將來相當ナ赤  
字ガ農業會ニ起ルト云フコトデアリマ  
スナラバ、是ハ政府全體ノ問題トシテ  
考慮シテ見タイト思ツテ居ル次第デア  
リマス

○二田委員 是デ私ノ大藏大臣ニ對ス  
ル質問ハ終リマス  
○渡邊委員 祕密會ヲ御願ヒ致シ  
マス  
○伊豆委員 只今渡邊泰邦委員カラ  
外資金庫法案ニ付テ質疑ノ通告ガアリ  
マシタ、之ニ關シ政府側ヨリ祕密會ヲ  
開キタキ旨ノ要求ガアリマスカラ、之  
ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕  
○伊豆委員 異議ヲ認メマス——  
是ヨリ大東亞共榮圈ニ於ケル金融事情  
ニ關シ祕密會ヲ開キマス、政府委員以  
外ノ方ノ御退席ヲ御願ヒ致シマス

〔午後二時二十五分祕密會ニ入ル〕  
〔午後三時二分祕密會ヲ終ル〕  
○伊豆委員 只今ノ祕密會ニ於テハ、  
大藏大臣ヨリ大東亞共榮圈ノ金融事  
情ニ付キ説明、答辯ガアリマシタ——  
二田君

○二田委員 農商省當局ニ御伺ヒ致シ  
マス、ソレハ食糧ヲ材料トスル燃料ト  
食糧ニ關シテ御伺ヒ致シタイト存ジマ  
ス、是カラ食糧ヲ材料トスル所ノ燃料  
ノ製造ト云フモノハ益、殖エルモノト  
存ジテ居リマス、一方食糧ノ逼迫モ、  
色々ノ農業資材ノ不足ノ關係カラ、或  
ハ勞力ノ關係カラ、是モ亦免レザル所  
ノ情勢ト考ヘテ居リマス、ソコデ大臣  
ニ御伺ヒ致シタイコトハ、農商當局ハ  
昭和二十年度ニ於テハ如何程ノ甘藷  
馬鈴薯ヲ燃料ノ原料トシテ目論ンデ居  
ルカ、尙ホ併セテ全體ノ食糧關係ヨリ  
致シマシテ御伺ヒ致シタイノデアリマ  
スガ、昭和十九年ノ米穀ノ供出ノ現在  
ノ狀況ハドウナツテ居ルカ、此ノ二ツ  
ヲ先ツ御伺ヒ致シマス

○湯河政府委員 昭和二十年産、今年  
ノ秋穫レマス諸ニ付キマシテハ、マダ  
燃料計畫ノ數量ハ確定シテ居リマセ  
ヌ、只今關係當局トノ間デ色々相談ヲ  
致シテ居リマスガ、マダ確定シテ居リ  
マセヌ

○二田委員 昨年ト比較シテノ豫想ハ  
如何デスカ  
○湯河政府委員 昨年度ノ諸ニ比較致  
シマシテ、相當增加スルコトハ、豫想  
出來ルト思ヒマス、ソレカラ昨年ノ秋  
ノ米ノ供出狀況デゴザイマスガ、是  
ハ米ノ作柄ガ漸次判明シテ參リマスル  
ト、當初豫想シテ居リマシタ程作柄ガ良  
クナイト云フコトガ一面ニゴザイマス  
ルシ、他ノ一面カラ天候等ノ加減モゴ  
ザイマスシ、供出ハ半年ニ比較致シマ  
スト少シ時期ガ遅レテ居ルノデアリマ  
ス、地方應トノ關係ニ於キマシテ、供  
出ノ割當量ニ若干補正ヲ加ヘテ居リマ  
ス、補正致サレマシタ割當量ハ併シ程  
ナク全部完了スル見込ヲ持ツテ居リマ

○湯河政府委員 昨年度ノ諸ニ比較致  
シマシテ、相當增加スルコトハ、豫想  
出來ルト思ヒマス、ソレカラ昨年ノ秋  
ノ米ノ供出狀況デゴザイマスガ、是  
ハ米ノ作柄ガ漸次判明シテ參リマスル  
ト、當初豫想シテ居リマシタ程作柄ガ良  
クナイト云フコトガ一面ニゴザイマス  
ルシ、他ノ一面カラ天候等ノ加減モゴ  
ザイマスシ、供出ハ半年ニ比較致シマ  
スト少シ時期ガ遅レテ居ルノデアリマ  
ス、地方應トノ關係ニ於キマシテ、供  
出ノ割當量ニ若干補正ヲ加ヘテ居リマ  
ス、補正致サレマシタ割當量ハ併シ程  
ナク全部完了スル見込ヲ持ツテ居リマ

○二田委員 今ノ管理局長官ノ御答辯デモ、今年ノ秋出來ルベキ甘藷、馬鈴薯ヲ燃料ノ原料トシテ落ス量ガ相當殖エル見込デアリ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、一方又米ノ供出ノ成績モ餘リ芳シクナイト云フ御話ヲ御伺ヒ致シマス、益、食糧事情ハ逼迫スルト想像シテ宜イト思ヒマス、我々ハ今度昭和十八年ハ容易デナイトラウト考ヘタノヲ、之ヲ乗切ツテ行ツタ、昭和十九年モ容易デナイトラウト考ヘタノヲ、之ヲ乗切ツテ行ツタ、併シ諸般ノ情勢カラ見マシテ、昭和二十年コソハ本當ニ容易デナイト想像致サレルノデアリマス、所デ滿洲ノ問題デアリマスガ、滿洲カラ相當ノ雜穀ヲ入レマシテ、今度ノ食糧事情ト云フモノヲ乗切ツテ來タノデアリマスガ、又昭和二十年モ相當ノ量ヲ入レシテ計畫デアルト聞イテ居ルノデアリマス、コ、ヲ、トツ考ヘナクチヤイカスト思フノデアリマスガ、滿洲カラ雜穀ヲ其ノ儘持ツテ來ルヨリモ、滿洲デ出來ル所ノ高粱其ノ他ノ雜穀ヲ原料トシテ滿洲デ「アルコール」ヲ造ツタラドウカ、サウシテ内地デ出來ル甘藷、馬鈴薯ハ大部分之ヲ内地ノ食糧ト致シマシテ、内地ノ食糧事情ノ逼迫ヲ「カバ」スル、船ノ關係カラ致シマシテモ、「アルコール」ニ致シテ内地ニ持ツテ來タ方ガ輸送ガ非常ニ繁ナコトハ分リ切ツテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ關係カラ若シ滿洲ノ雜穀デ以テ「アルコール」ヲ造ツタナラバ、輸送上或ハ「アルコール」ヲ造ルニ要スル燃料ノ節約上、非常ニ有利ナコトト考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フコトニ付キマシテ農商當局ハ何カ御考ヘヲ持ツテ居ルカドウカヲ一ツ御伺ヒ致シマス

○湯河河府委員 「アルコール」ノ製造

○二田委員 内地デ出來ル諸ヲ相當量「アルコール」ノ材料トシテ提供スル、サウ云フ風ニヤツテ昭和二十年度ノ食

糧事情ハドウデアアルカト云フコトニ付テ、食糧管理局長官ノ率直ナル御心境ヲ承リタイ、隨分食糧ノ問題ハヤカマシイ問題デ、増配シテ呉レト云フ聲ハアツテモ増配ハ出來ナイデセウガ、ソレデ乗切レルカドウカ、ソコヲ一ツ食糧管理局長官ノ御心境ヲ承リタイ

○湯河河府委員 昭和二十年米穀年度ノ需給事情ノ見透シニ付キマシテハ、マダ色々測定シ兼ニ要素ガゴザイマスアリマシテ、年度端境期マデノ見透シヲ今確實ニ申上ゲルコトハ、洵ニ困難デゴザイマス、御想像ノ通りニ從來食糧用ニ用ヒテ居リマシタモノヲ、相當多量ニ燃料ニ廻ス必要モ現實ニ迫ツテ居リマス、又一面昨年ノ米ノ生産高或ハ今年はカラ出來スル麥ノ收量等ニ付キマシテ、決シテ樂觀ヲ許サナイ情勢ニナツテ居リマス、又從來外地、滿洲國等ヨリ相當多量ノ食糧ヲ輸入致シマシタモノガ、今日ノ輸送事情、或ハ外地ノ生産狀況ヨリ致シマシテ、之ヲ獲得スルコト中々容易デナイト云フヤウナ實情ニゴザイマス、而シテ需要、消費ノ面カラ申シマス、戦局ニ伴ヒマシテ軍需食糧ノ需要ハ相當大ニナリ、人口ノ増加、或ハ勞務者ノ増加等ニ伴ヒマスル消費ノ増モ亦相當アルト云フコトカラ致シマシテ、中々需給ノ調整ト云フコトハ難カシイノデアリマス、我々ト致シマシテ一方ニ於テ國內ノ増産ニ全力ヲ擧ゲテ其ノ所要量ヲ確保シタイ考ヘテ居リマス、輸送上ノ色々支障ニ付キマシテモ、作戰或ハ軍需資材ノ輸送等ト十分密接ナ連絡協調ヲ圖リマシテ、此ノ難カシイ食糧事情ヲ何トカシテ事缺カヌヤウニシテ參リタイト考ヘテ居ルノ

ヲ滿洲ノ糧穀デヤルト云フコトハ、確カニ一ツ考ヘラレルコトデアリマシテ、滿洲ノ玉蜀黍ハ「アルコール」ノ原料トシテ適當ナモノデゴザイマス、併シ此ノ時局下ニ於キマシテ「アルコール」ノ増産ノ必要ハ非常ニ厄大ナモノデゴザイマシテ、内地デモ造リ、又外地滿洲國、支那デモソレソレ精一パイ造ツテ貫ハナケレバナラヌ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、二田委員ノ仰セノヤウニ滿洲ノ糧穀ヲ内地ノ食糧事情上輸入スル必要ハ又別ニゴザイマスガ、内地ニ持ツテ來ル豫定ノ食糧ヲ滿洲デ「アルコール」ニ消費サレルコトハ、是ハ自給事情上相當問題ダト思ヒマス、併シ御話ノヤウニ内地ノ「アルコール」ニ潰ス諸ノ内地デ食ツテ、其ノ身替リヲ滿洲カラ輸入スル糧穀デ「アルコール」ヲ造ツタラドウカ、斯ウ云フ御話ノヤウニ思ヒマスガ、内地ノ食用ニ消化スルト云フコトニ付キマシテハ、是レ亦限度ガゴザイマス、只今ノ計畫ト致シマシテハ、内地ノ燃料計畫ト食糧計畫トハ、兩方共内地ノ諸ニ依存スル計畫ヲ立テテ居リマス、滿洲ノ糧穀ノ食糧化ト睨ミ合セマシテ我々トシテハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、「アルコール」製品ニシテ輸送スレバ船腹ハ助カルト云フ事情ハ御話ノ通り存ジマスガ、一面内地ノ諸ヲ全部食糧化シ、「アルコール」ニ使フモノヲ全部食糧化シ、サウシテ内地ニ輸入スル滿洲糧穀ヲ現地デ「アルコール」化スルト云フコトハ、食糧需給上相當考慮ヲ要スル實行上ノ難點ガアルト云フコトヲ申上ゲタイノデアリマス

○二田委員 内地デ出來ル諸ヲ相當量「アルコール」ノ材料トシテ提供スル、サウ云フ風ニヤツテ昭和二十年度ノ食

○湯河河府委員 昭和二十年米穀年度ノ需給事情ノ見透シニ付キマシテハ、マダ色々測定シ兼ニ要素ガゴザイマスアリマシテ、年度端境期マデノ見透シヲ今確實ニ申上ゲルコトハ、洵ニ困難デゴザイマス、御想像ノ通りニ從來食糧用ニ用ヒテ居リマシタモノヲ、相當多量ニ燃料ニ廻ス必要モ現實ニ迫ツテ居リマス、又一面昨年ノ米ノ生産高或ハ今年はカラ出來スル麥ノ收量等ニ付キマシテ、決シテ樂觀ヲ許サナイ情勢ニナツテ居リマス、又從來外地、滿洲國等ヨリ相當多量ノ食糧ヲ輸入致シマシタモノガ、今日ノ輸送事情、或ハ外地ノ生産狀況ヨリ致シマシテ、之ヲ獲得スルコト中々容易デナイト云フヤウナ實情ニゴザイマス、而シテ需要、消費ノ面カラ申シマス、戦局ニ伴ヒマシテ軍需食糧ノ需要ハ相當大ニナリ、人口ノ増加、或ハ勞務者ノ増加等ニ伴ヒマスル消費ノ増モ亦相當アルト云フコトカラ致シマシテ、中々需給ノ調整ト云フコトハ難カシイノデアリマス、我々ト致シマシテ一方ニ於テ國內ノ増産ニ全力ヲ擧ゲテ其ノ所要量ヲ確保シタイ考ヘテ居リマス、輸送上ノ色々支障ニ付キマシテモ、作戰或ハ軍需資材ノ輸送等ト十分密接ナ連絡協調ヲ圖リマシテ、此ノ難カシイ食糧事情ヲ何トカシテ事缺カヌヤウニシテ參リタイト考ヘテ居ルノ

○二田委員 食糧ノ元締タル管理局長官ノ御話ヲ伺ヒマシテモ、本當ニ難カシイト云フコトガ分ル、斯ウ云フ點ニ鑑ミマシテ、農商省當局ニ於テモドウカシテ……私ハ斯様ニ考ヘル、之ヲ要スルニ食糧ノ増産ハ是カラハ努力ニアラト思フ、農村ニ於テハ努力ガ足ラナイノデアリ、其ノ努力ノ需給ト云フモノヲ農商當局ニ於テ十分考ヘテ、サウシテ民間ト「タイアップ」シマシテ増産ヲスト考ヘテ居リマス、此ノ點一言農商當局ニ御願ヒシテ置キマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○伊豆委員 外ニ御質問ハアリマセヌカ——ソレデハ本日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午後一時半カラ開會致シマス

午後三時十七分散會

○二田委員 食糧ノ元締タル管理局長官ノ御話ヲ伺ヒマシテモ、本當ニ難カシイト云フコトガ分ル、斯ウ云フ點ニ鑑ミマシテ、農商省當局ニ於テモドウカシテ……私ハ斯様ニ考ヘル、之ヲ要スルニ食糧ノ増産ハ是カラハ努力ニアラト思フ、農村ニ於テハ努力ガ足ラナイノデアリ、其ノ努力ノ需給ト云フモノヲ農商當局ニ於テ十分考ヘテ、サウシテ民間ト「タイアップ」シマシテ増産ヲスト考ヘテ居リマス、此ノ點一言農商當局ニ御願ヒシテ置キマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

昭和二十年一月二十五日印刷

昭和二十年一月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局